

【275kV以上系統構成マッピング利用上の留意点】

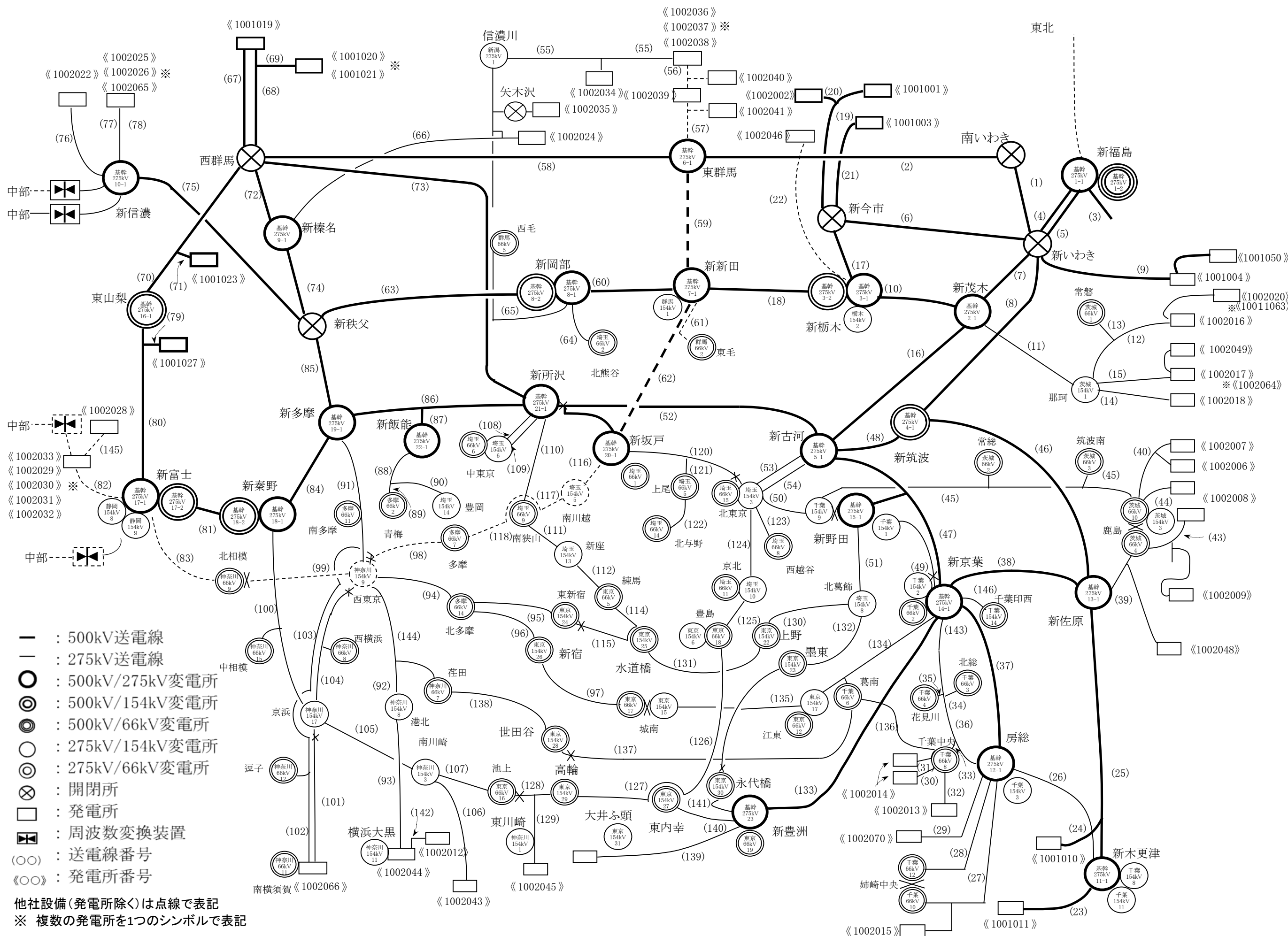
- (1)本資料は2026年6月22日時点における系統状況から作成しております。
- (2) 平常時出力制御の可能性については目安であるため、系統連系の前には、接続検討(要申込み)による詳細検討が必要となります。
- (3) スマートフォン等の端末より閲覧する場合は、Adobe Acrobat Readerをご利用ください。また、推奨環境下でも、ブラウザ、セキュリティソフトウェア、ネットワーク等の設定によっては、一部正常に表示できないことがあります。
- (4)連系希望箇所における系統連系制約や系統連系可能量の確認を希望される場合は、最寄りの事業所もしくはネットワークサービスセンターへお問い合わせ下さい。
- (5)平常時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。

基幹系統

系統構成 マッピング ～275kV以上の電力系統・①外輪系統～



系統構成 500kV,275kV系統



送電線予想潮流等一覧表の留意事項について

- (1) 予想潮流と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
その結果、予想潮流と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく運用容量値と平常時出力制御の可能性を記載しております。
その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。
なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可能性ありでも設置されとは限りません。
また、適用不可の場合の理由は以下の通りです。
 #1 基幹系ループ系統のため
 #2 1回線送電線のため
 #3 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (4) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。
- (5) 平常時出力制御の可能性がある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryoku.html
- (6) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (7) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、当該項目を「-」にしています。
- (8) 送電線名に発電所名、需要者名等が含まれている場合には、送電線名を「送電線」としております。
- (9) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (10) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。
詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
* <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>

送電線 No.	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%× 回線数)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	潮流方向		予想 潮流 (MW)	空容量		N-1 電制 適用 可否	N-1 電制 適用 可能量 (MW)	平常時 制御の 可能性	平常時出力制約の可能性がある設備		備考	
										当該設備	上位系等 考慮				当該 設備	上位系 設備		
基幹 500kV 1	川内線	500	2	13,164	6,582	熱容量	新いわき（開）	→	南いわき（開）	-280	-	-	不可 # 1	-	-	-	-	
基幹 500kV 2	南いわき幹線	500	2	8,886	4,936	熱容量	東群馬	→	南いわき（開）	-4,550	-	-	不可 # 1	-	有り	-	基幹 500kV 52	フェンス管理
基幹 500kV 3	富岡線	500	2	8,280	4,693	熱容量		→	-	0	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 500kV 52	
基幹 500kV 4	福島山幹線	500	2	5,574	3,291	熱容量	新いわき（開）	→	新福島	-2,500	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 500kV 52	
基幹 500kV 5	福島東幹線山線	500	2	5,574	3,291	熱容量	新いわき（開）	→	新福島	-1,910	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 500kV 52	
基幹 500kV 6	新いわき線	500	2	13,164	6,582	熱容量	新今市（開）	→	新いわき（開）	-2,680	-	-	不可 # 1	-	-	-	-	
基幹 500kV 7	福島中幹線	500	2	5,574	3,291	熱容量	新茂木	→	新いわき（開）	-2,280	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 500kV 52	
基幹 500kV 8	福島東幹線里線	500	2	5,574	3,291	熱容量	新筑波	→	新いわき（開）	-1,270	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 500kV 52	
基幹 500kV 9	送電線	500	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	対象	基幹 500kV 52	
基幹 500kV 10	新茂木線	500	2	11,874	6,582	熱容量	新栃木	→	新茂木	-3,870	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 500kV 18	
基幹 275kV 11	那珂線	275	2	6,530	3,620	熱容量	新茂木	→	那珂	-5,260	-	-	可	1,400	有り	対象	変基幹 275kV 2-1,基幹 500kV 52,	フェンス管理
基幹 275kV 12	阿武隈線	275	2	3,692	2,115	熱容量	那珂	→	発電所	-1,560	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 275kV 11,変基幹 275kV 2-1,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 13	十王線	275	2	2,276	1,291	熱容量	阿武隈線分岐	→	常磐	-500	-	-	可	980	有り	-	基幹 275kV 11,変基幹 275kV 2-1,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 14	送電線	275	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	-	基幹 275kV 11,変基幹 275kV 2-1,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 15	送電線	275	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	-	基幹 275kV 11,変基幹 275kV 2-1,基幹 500kV 52	
基幹 500kV 16	福島幹線	500	2	5,574	3,291	熱容量	新古河	→	新茂木	-100	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 500kV 52	
基幹 500kV 17	中栃木線	500	2	13,164	6,582	熱容量	新栃木	→	新今市（開）	-2,680	-	-	不可 # 1	-	-	-	-	
基幹 500kV 18	新栃木線	500	2	13,164	6,582	熱容量	新新田	→	新栃木	-6,940	-	-	不可 # 1	-	有り	対象	-	フェンス管理
基幹 500kV 19	下郷線	500	1	3,290	3,290	-	-		→	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹 500kV 20	今市線	500	1	1,645	1,645	-	-		→	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹 500kV 21	塩原線	500	1	2,000	2,000	-	-		→	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹 275kV 22	沼原線	275	2	1,400	909	熱容量	新栃木	→	発電所	-540	-	-	可	490	有り	-	変基幹 275kV 3-1	
基幹 500kV 23	送電線	500	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	対象	基幹 500kV 25,基幹 500kV 46	
基幹 500kV 24	新袖ヶ浦線	500	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	-	基幹 500kV 25,基幹 500kV 46	
基幹 500kV 25	新袖ヶ浦線	500	2	9,946	6,671	熱容量	新佐原	→	新木更津	-5,960	-	-	不可 # 1	-	有り	対象	基幹 500kV 46	
基幹 275kV 26	君津線	275	2	3,066	1,729	熱容量	房総	→	新木更津	-840	-	-	不可 # 1	-	有り	対象	基幹 275kV 36,基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 27	姉崎線1・2L	275	2	3,066	1,729	熱容量	房総	→	発電所	-1,080	-	-	可	1,330	有り	対象	基幹 275kV 36,基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 28	姉崎線3・4L	275	2	1,140	684	熱容量	房総	→	発電所	50	-	-	可	450	有り	-	基幹 275kV 36,基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 29	送電線	275	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	対象	基幹 275kV 36,基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 30	送電線	275	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	-	基幹 275kV 33,基幹 275kV 36,基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 31	送電線	275	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	-	基幹 275kV 136,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 32	送電線	275	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	対象	基幹 275kV 33,基幹 275kV 36,基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 33	千葉中央線	275	2	5,430	2,715	熱容量	北千葉線分岐	→	千葉中央	-3,960	-	-	可	1,400	有り	対象	基幹 275kV 36,基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 34	北総線	275	2	3,620	1,810	熱容量	北千葉線分岐	→	北総	530	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 275kV 36,基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 35	花見川線	275	2	1,810	905	熱容量	北千葉線分岐	→	花見川	250	-	-	可	900	有り	-	基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 275kV 36	北千葉線（房総～花見川）	275	2	5,632	3,254	熱容量	花見川（北千葉線分岐）	→	房総	-4,770	-	-	可	1,400	有り	対象	基幹 275kV 143,基幹 500kV 47	
基幹 500kV 37	房総線	500	2	5,574	3,143	熱容量	新京葉	→	房総	-4,210	-	-	可	1,400	有り	対象	基幹 500kV 47	
基幹 500kV 38	印旛線	500	2	9,946	5,578	熱容量	新京葉	→	新佐原	-1,590	-	-	不可 # 1	-	有り	-	基幹 500kV 46	
基幹 275kV 39	香取線	275	2	5,470	3,068	熱容量	新佐原	→	鹿島	-680	-	-	可	1,400	有り	対象	基幹 500kV 46	
基幹 275kV 40	送電線	275	2	1,728	982	熱容量	鹿島	→	発電所	-480	-	-	可	740	有り	対象	基幹 275kV 45,基幹 275kV 50,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 43	送電線	275	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	-	基幹 275kV 45,基幹 275kV 50,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 44	送電線	275	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	-	基幹 275kV 45,基幹 275kV 50,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 45	鹿島線	275	2	3,066	1,729	熱容量	新野田	→	鹿島	-2,440	-	-	不可 # 3	-	有り	対象	基幹 275kV 50,基幹 500kV 52	安定度限界により2回線合計2900MW以下の制約
基幹 500kV 46	新佐原線	500	2	11,874	6,671	熱容量	新筑波	→	新佐原	-5,140	-	-	不可 # 1					

送電線 No.	送電線名	電圧 (kV)	設備容量 回線数	設備容量 (100%× 回線数)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	潮流方向			予想 潮流 (MW)	空容量		N-1 電制 適用 可否	N-1 電制 適用 可能量 (MW)	平常時 出力 制御の 可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
											当該設備	上位系等 考慮				当該 設備	上位系 設備	
基幹 275kV 105	南川崎線	275	3	1,809	878	熱容量	京浜	→	南川崎	-1,980	-	-	可	930	有り	対象	基幹 275kV 100,変基幹 275kV 18-2	
基幹 275kV 106	送電線	275	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	-	基幹 275kV 105,基幹 275kV 100,変基幹 275kV 18-2	
基幹 275kV 107	南池上線	275	3	1,284	1,216	熱容量	南川崎	→	池上	290	-	-	可	60	有り	-	基幹 275kV 105,基幹 275kV 100,変基幹 275kV 18-2	
基幹 275kV 108	中沢線1・2L	275	2	1,322	743	熱容量	新所沢	→	中東京	310	-	-	可	570	-	-	-	
基幹 275kV 109	中沢線3・4L	275	2	1,322	743	熱容量	新所沢	→	中東京	310	-	-	可	570	-	-	-	
基幹 275kV 110	南狭山線	275	2	6,136	3,511	熱容量	新所沢	→	南狭山	2,280	-	-	可	1,400	-	-	-	
基幹 275kV 111	新座線	275	2	5,470	3,068	熱容量	南狭山	→	新座	1,730	-	-	可	1,400	-	-	-	
基幹 275kV 112	北武蔵野線	275	2	684	684	熱容量	新座	→	練馬	430	-	-	可	0	-	-	-	
基幹 275kV 114	水道橋線	275	3	873	873	熱容量	練馬	→	水道橋	0	-	-	可	0	-	-	-	
基幹 275kV 115	東新宿水道橋線	275	2	456	456	熱容量	東新宿	→	水道橋	0	-	-	可	0	-	-	-	
基幹 275kV 116	坂戸川越線	275	2	7,240	3,620	熱容量	新坂戸	→	南川越	-640	-	-	可	1,400	-	-	-	
基幹 275kV 117	西南川越線	275	2	1,320	751	熱容量	南川越	→	南狭山	-990	-	-	可	560	有り	対象	-	
基幹 275kV 118	西南川越線	275	2	1,320	751	熱容量	南狭山	→	多摩	-990	-	-	可	560	有り	対象	基幹 275kV 117	
基幹 275kV 120	東京中線	275	2	1,322	743	熱容量	新坂戸	→	北東京	950	-	-	可	570	-	-	-	
基幹 275kV 121	上尾線	275	2	6,530	3,669	熱容量	東京中線分岐	→	上尾	1,010	-	-	可	1,400	-	-	-	
基幹 275kV 122	北与野線	275	2	504	363	熱容量	上尾	→	北与野	310	-	-	可	140	-	-	-	
基幹 275kV 123	西越谷線	275	2	1,810	905	熱容量	北東京	→	西越谷	660	-	-	可	900	有り	-	基幹 500kV 52	
基幹 275kV 124	春日部線	275	2	3,066	1,729	熱容量	北東京	→	京北	-360	-	-	可	1,330	有り	-	基幹 500kV 52	
基幹 275kV 125	豊島線	275	3	924	624	熱容量	京北	→	豊島	-660	-	-	可	300	有り	対象	基幹 500kV 52	
基幹 275kV 126	東内幸町線	275	3	948	742	熱容量	豊島	→	東内幸町	-950	-	-	可	200	有り	対象	基幹 275kV 125,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 127	高輪線	275	3	990	656	熱容量	東内幸町	→	高輪	-950	-	-	可	330	有り	対象	基幹 275kV 126,基幹 275kV 125,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 128	池上線	275	3	1,284	1,284	熱容量	川崎高輪線分岐	→	池上	0	-	-	可	0	有り	-	基幹 275kV 127,基幹 275kV 126,基幹 275kV 125,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 129	川崎高輪線	275	3	1,422	642	熱容量	高輪	→	発電所	-1,150	-	-	可	780	有り	対象	基幹 275kV 127,基幹 275kV 126,基幹 275kV 125,基幹 500kV 52	
基幹 275kV 130	上野線	275	3	1,113	1,113	熱容量	北葛飾	→	上野	950	-	-	可	0	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 131	上野水道橋線	275	3	867	867	熱容量	上野	→	水道橋	620	-	-	可	0	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 132	墨東線	275	3	1,323	1,323	熱容量	北葛飾	→	永代橋	630	-	-	可	0	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 500kV 133	新豊洲線	500	2	1,920	1,920	熱容量	新豊洲	→	新京葉	380	-	-	可	0	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 134	江東線	275	2	3,044	1,718	熱容量	新京葉	→	江東	450	-	-	可	1,320	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 135	城南線	275	3	990	832	熱容量	江東	→	城南	20	-	-	可	150	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 136	千葉葛南線	275	2	846	846	熱容量	葛南	→	千葉中央	-870	-	-	可	0	有り	対象	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 137	葛南世田谷線	275	3	1,089	1,089	熱容量	葛南	→	世田谷	0	-	-	可	0	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 138	世田谷線	275	3	1,179	1,179	熱容量	荏田	→	世田谷	630	-	-	可	0	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 139	川崎豊洲線	275	3	1,803	1,803	熱容量	新豊洲	→	発電所	-1,430	-	-	可	0	有り	対象	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 140	豊洲内幸町線	275	3	994	994	熱容量	新豊洲	→	東内幸町	470	-	-	可	0	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 141	豊洲永代橋線	275	3	1,009	1,009	熱容量	新豊洲	→	永代橋	540	-	-	可	0	有り	-	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 142	送電線	275	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	対象	基幹 275kV 93,基幹 275kV 92,基幹 275kV 144	
基幹 275kV 143	北千葉線（花見川～新京葉）	275	2	5,632	3,254	熱容量	新京葉	→	花見川（北千葉線分岐）	-4,090	-	-	可	1,400	有り	対象	基幹 500kV 47	
基幹 275kV 144	港北線（荏田～西東京）	275	2	3,066	1,729	熱容量	西東京	→	荏田	-2,540	-	-	可	1,330	有り	対象	-	
基幹 275kV 145	新豊根佐久間線	275	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有り	-	基幹 275kV 82	
基幹 275kV 146	千葉印西線	275	3	729	729	熱容量	新京葉	→	千葉印西	730	-	-	可	0	有り	-	基幹 500kV 47	

変電所予想潮流等一覧表の留意事項について

- (1) 予想潮流と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
その結果、予想潮流と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく運用容量値と平常時出力制御の可能性を記載しております。
その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。
なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可能性ありでも設置されとは限りません。
また、適用不可の場合の理由は以下の通りです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 - #3 配電系統のため
 - #4 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (4) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。
なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (5) 平常時出力制御の可能性がある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryoku.html
- (6) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (7) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、当該項目を「-」にしています。
- (8) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (9) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。
詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
* <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>

変電所 No.	変電所名	電圧 (kV) 1次/2次	台数	設備容量 (100%× 台数)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	潮流方向	予想 潮流 (MW)	空容量		N-1 電制 適用 可否	N-1 電制 適用 可能量 (MW)	平常時 出力 制御の 可能性	平常時出力制脚の可能性がある設備		備考
									(MW)					当該 設備	上位系 設備	
									当該設備	上位系等 考慮						
変基幹 275kV 1-1	新福島	500/275	3	3,000	2,280	熱容量		-50	-	-	可	570	有り	対象	基幹 500kV 52	
変基幹 275kV 1-2	新福島	500/66	2	260	130	熱容量		-280	-	-	不可 # 2	-	有り	対象	基幹 500kV 52	
変基幹 275kV 2-1	新茂木	500/275	4	5,700	4,620	熱容量		-5,260	-	-	可	790	有り	対象	-	
変基幹 275kV 3-1	新栃木	500/275	1	1,000	950	熱容量		-90	-	-	可	364	有り	対象	-	運用容量は500/154kVバンク、500/275kVバンクと合算
変基幹 275kV 3-2	新栃木	500/154	4	3,000	3,204	熱容量		-5,904	-	-	可	364	有り	対象	-	運用容量は500/154kVバンク、500/275kVバンクと合算
変基幹 275kV 4-1	新筑波	500/154	4	3,000	2,536	熱容量		-914	-	-	可	314	有り	対象	基幹 500kV 52	
変基幹 275kV 5-1	新古河	500/275	4	6,000	5,130	熱容量		1,830	-	-	可	570	有り	-	基幹 500kV 52	
変基幹 275kV 6-1	東群馬	500/275	1	1,000	950	熱容量		-620	-	-	不可 # 2	-	有り	対象	-	
変基幹 275kV 7-1	新新田	500/275	2	2,000	1,140	熱容量		870	-	-	可	760	-	-	-	
変基幹 275kV 8-1	新岡部	500/275	2	3,000	1,710	熱容量		900	-	-	可	1,140	-	-	-	
変基幹 275kV 8-2	新岡部	500/154	3	2,250	1,682	熱容量		-2,567	-	-	可	450	有り	対象	-	
変基幹 275kV 9-1	新榛名	500/275	3	2,010	1,528	熱容量		-750	-	-	可	380	有り	対象	-	
変基幹 275kV 10-1	新信濃	500/275	3	3,000	2,280	熱容量		-10	-	-	可	570	有り	対象	基幹 500kV 75	
変基幹 275kV 11-1	新木更津	500/275	2	3,000	1,710	熱容量		430	-	-	可	1,140	有り	対象	基幹 500kV 47	
変基幹 275kV 12-1	房総	500/275	4	4,500	3,420	熱容量		-3,240	-	-	可	850	有り	対象	基幹 500kV 47	(1Bのみ別系統であり運用容量は950MW)
変基幹 275kV 13-1	新佐原	500/275	3	3,500	2,262	熱容量		-680	-	-	可	1,060	有り	対象	基幹 500kV 46	
変基幹 275kV 14-1	新京葉	500/275	3	4,500	3,420	熱容量		-1,140	-	-	可	850	有り	-	基幹 500kV 47	
変基幹 275kV 15-1	新野田	500/275	4	6,000	3,420	熱容量		2,020	-	-	可	1,400	有り	-	基幹 500kV 47	
変基幹 275kV 16-1	東山梨	500/154	3	2,250	1,705	熱容量		-920	-	-	可	430	-	-	-	
変基幹 275kV 17-1	新富士	500/275	2	3,000	1,710	熱容量		-1,615	-	-	可	1,140	-	-	-	
変基幹 275kV 17-2	新富士	500/154	2	1,500	855	熱容量		674	-	-	可	570	-	-	-	
変基幹 275kV 18-1	新秦野	500/275	2	3,000	1,710	熱容量		-2,970	-	-	可	1,140	有り	対象	-	
変基幹 275kV 18-2	新秦野	500/154	3	2,250	1,710	熱容量		406	-	-	可	420	有り	対象	-	
変基幹 275kV 19-1	新多摩	500/275	4	4,000	3,420	熱容量		-1,350	-	-	可	380	-	-	-	
変基幹 275kV 20-1	新坂戸	500/275	3	4,500	3,420	熱容量		2,010	-	-	可	850	-	-	-	
変基幹 275kV 21-1	新所沢	500/275	5	6,000	5,130	熱容量		2,880	-	-	可	570	-	-	-	
変基幹 275kV 22-1	新飯能	500/275	2	3,000	1,710	熱容量		1,750	-	-	可	1,140	-	-	-	
変基幹 275kV 23-1	新豊洲	500/275	2	3,000	1,710	熱容量		-380	-	-	可	1,140	有り	-	基幹 500kV 47	